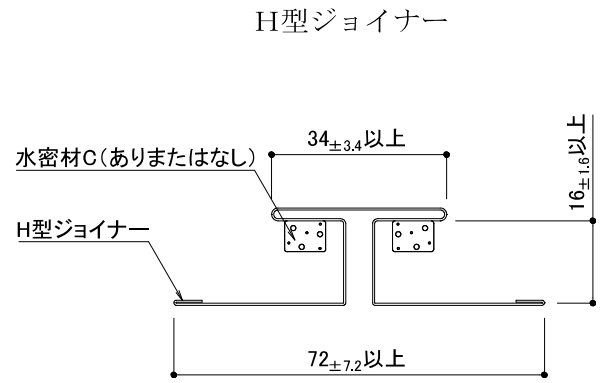
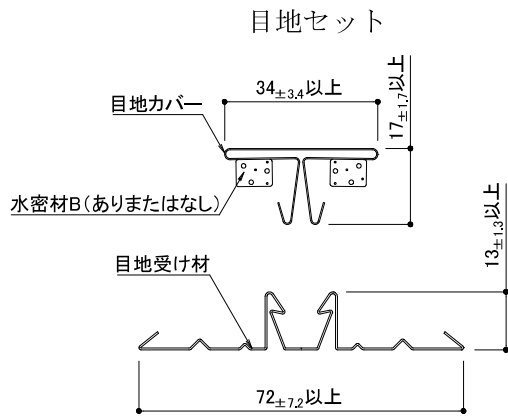
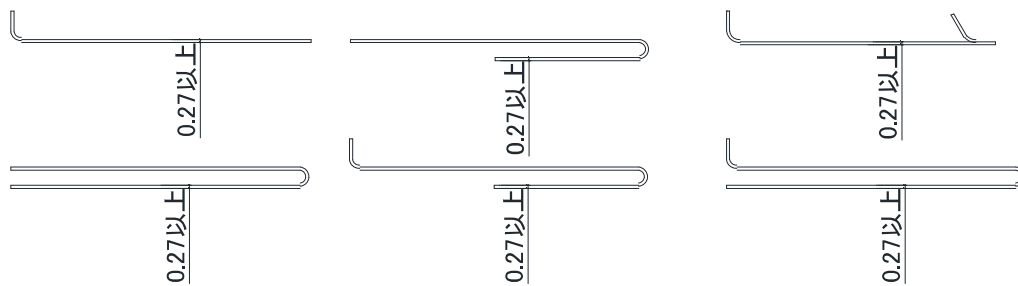


役物の代表例

(寸法単位：mm)



補強金物の代表例



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

5. 施工方法等

〈施工図〉

4. 構造説明図と同じ

〈施工手順〉

(1) 下地

荷重支持部材、間柱は反り、曲り等ないものを使用し、荷重支持部材、間柱間隔を500mm以下で施工し、必要に応じて受け材を取付ける。構造用面材を荷重支持部材、間柱、受け材に500mm以下の間隔でくぎまたはねじで不陸のないように施工する。

(2) 水切の取付け(評価対象外)

- ・外装材が横張の場合
土台に水切を水準器を用いて水平に取付ける。
- ・外装材が縦張の場合
土台に水切、端面カバーを水準器を用いて水平に取付ける。

(3) 外張断熱材の取付け

構造用面材の上に外張断熱材を取り付ける。必要に応じてくぎ、ステープル、ブチル系粘着テープ又はアクリル系粘着テープを用いてもよい

(4) 防水紙の取付け

防水紙を取付ける場合は、ステープル、ブチル系粘着テープ又はアクリル系粘着テープを用いて留付ける。

(5) 胴縁/補助胴縁の取付け

- ・外装材が横張の場合
荷重支持部材又は間柱に対して縦方向に配置し、500mm以下の間隔で不陸のないように平滑に荷重支持部材、間柱にくぎまたはねじで留付ける。
外装材縦目地部には40mm幅以上の胴縁2列または、80mm幅以上の胴縁を配置する。
- ・外装材が縦張の場合
荷重支持部材又は間柱に対して、横方向に配置し、500mm以下の間隔で不陸のないように平滑に荷重支持部材、間柱にくぎまたはねじで留付ける。

(6) スターター(端面カバー)、役物(目地セット用目地受け材、H型ジョイナー)の取付け

- 必要に応じ、スターター(端面カバー)を取付ける。
- ・役物(目地セット)を使用する場合
縦目地部に目地受け材を3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。
- ・役物(H型ジョイナー)の取付け
縦目地部にH型ジョイナーを3000mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。

(7) 外装材の取付け

- ・外装材が横張の場合
外装材の下端の凹部をスターターの凸部にはめ込み、外装材の上端に水平方向は500mm以下、垂直方向は外装材の働き幅間隔以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。
2段目以降は外装材の下端の凹部を下段の外装材の上端の凸部に差込み、くぎまたはねじで留付け、施工する。
- ・外装材が縦張の場合
外装材の側面に水平方向は外装材の働き幅間隔以下、垂直500mm以下の間隔でくぎまたはねじで留付ける。
2枚目以降は外装材の凹部を外装材の凸部に差込み、くぎまたはねじで留付け、施工する。

(8) 役物(目地セット用目地カバー)の留付け

- ・役物(目地セット)を使用する場合
目地カバーを目地受け材にはめ込む。

(9) 防湿紙の取付け

防湿紙を取付ける場合は、ステープル、ブチル系粘着テープ又はアクリル系粘着テープを用いて留付ける。

(10) 内装材の取付け

内装材はくぎ又はねじを用いて荷重支持部材、間柱に留付ける。
横目地部にはせっこう系パテを塗布する。必要に応じて縦目地部にせっこうパテを塗布する。また、ジョイントテープを用いてもよい。